

葉いもちの初発が平年より早く確認されました  
ほ場を入念に見回り、病斑を確認したら直ちに防除しましょう！

- ・作物名 : 水稻
- ・病害虫名 : 葉いもち
- ・対象地域 : 県内全域
- ・発生量 : やや多
- ・発生時期 : 早い(全般発生期:7月第2半旬:7/6~7/10)

巡回調査:7月1~2, 5~6日

定点調査ほ:大崎市古川(古川農業試験場)

天候予報:仙台管区气象台7月8日発表

### 1 予報の根拠

- (1) 定点調査ほ(ひとめぼれ)の葉いもちの初発日は6月27日と推定され、平年より6日早かった。
- (2) 巡回調査の結果、発病株率は低いものの(いずれも2,000株中1株にて発生を確認)、発生が56地点のうち県南部の3地点で確認された。  
なお、同時期の葉いもちの発生は直近10か年、確認されていない。
- (3) 6月の巡回調査の結果、補植用苗のいもち病の発生地点率は6月上旬が1.8%(平年値0.5%)、6月中旬は3.6%(平年値0.7%)と平年より高かった。
- (4) 7月9日現在、BLASTAMによる感染好適条件の推定では、県内の複数地点で感染好適条件及び準好適条件が出現している(表1)。
- (5) 平均気温が19~25℃、曇りや雨が多いことが発生に好適であり、向こう2週間の気温は高い見込みで、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いと予報されている。

表1 アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM 令和3年度)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亘理	丸森	
6/27	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	●
6/29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	●	●	-	-	●
6/30	?	-	△	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/1	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/2	△	○	○	-	-	○	△	-	●	-	-	-	○	○	-	△	●	●	-	-	-
7/3	○	-	○	△	△	-	-	-	-	△	-	-	-	○	-	●	●	○	-	-	●
7/4	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-
7/5	-	-	-	-	●	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	●
7/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/7	○	-	-	●	-	-	-	●	●	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-
7/8	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが、前5日間の平均気温が条件からはずれている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
-	好適条件なし	



写真 確認された葉いもち

## 2 防除のポイント

- ・ほ場を入念に見回り、本田での発生が見られた際は速やかに茎葉散布剤で防除してください（主な薬剤は表2を参照ください）。特に、7月中旬頃から箱施用剤の効果が低下し始めますので注意が必要です。
- ・追肥後は一時的に稲体の窒素濃度が高まり、いもち病に対する抵抗力が低下するため、薬剤散布を併せて行うなど注意してください。
- ・上位葉の葉いもちは穂いもちの発生源になります。穂いもちの予防のため水面施用剤を施用する場合(表2)は、使用時期を失しないように注意してください。
- ・BLASTAMによる最新の葉いもちの感染好適条件の推定結果は以下のHPを参照ください。  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

表2 いもち病の主な薬剤(令和3年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋)

	薬剤名	使用時期	使用量・希釈倍数・散布液量	使用回数	FRACコード (有効成分)	備考
水面 施用 剤	コラトップ1キロ粒剤12	穂いもちに対しては出穂30～5日前まで	1～1.5kg/10a 無人航空機1kg/10a	2回以内	16.1(ピロキロン)	
	コラトップ粒剤5	穂いもちに対しては出穂30～5日前まで	3～4kg/10a			
	コラトップジャンボP	穂いもちに対しては出穂30～5日前まで	小包装(パック)10～13個 (500～650g)/10a			
	コラトップリンバー粒剤	出穂30～5日前まで	3～4kg/10a		16.1(ピロキロン), 7(フラメトビル)	紋枯病との同時防除が可能
	ゴウケツパック	出穂5日前まで ただし、収穫30日前まで	小包装(パック)10個(450g)/10a	1回	16.3(トルプロカルブ)	
	ゴウケツ粒剤	出穂5日前まで ただし、収穫30日前まで	3～4kg/10a			
	フジワンパック	穂いもちに対しては出穂10～30日前 ただし、収穫14日前まで	小包装(パック)10～15個 (750～1125g)/10a	2回以内	6(イソプロチオラン)	
	フジワン粒剤	穂いもちに対しては出穂10～30日前 ただし、収穫30日前まで	3～5kg/10a(湛水散布)			
茎葉 散布 剤	トライフロアブル	収穫14日前まで	1,000倍, 60～150L/10a 無人航空機 8倍, 0.8L/10a	2回以内	U16(テブフロキン)	
	ノンプラス粉剤DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a	2回以内	U14(フェリムゾン), 16.1(トリシクラゾール)	
	ノンプラスフロアブル	収穫7日前まで	1,000倍, 60～150L/10a 無人ヘリ 8倍, 0.8L/10a			
	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a	2回以内	U14(フェリムゾン), 16.1(フサライド)	
	ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	1,000倍, 60～150L/10a			
	ブラシンゾル	収穫7日前まで	無人ヘリ 8倍, 0.8L/10a			
	ブラシンパリダ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a		U18(パリダマイシン), U14(フェリムゾン), 16.1(フサライド)	紋枯病との同時防除が可能
	ビームゾル	収穫7日前まで	1,000倍 無人ヘリ 6～8倍, 0.8L/10a	3回以内	16.1(トリシクラゾール)	
	ビーム粉剤DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a			
	ラブサイドベフラン粉剤DL	穂ばらみ期～穂揃期 ただし、収穫14日前まで	3～4kg/10a	3回以内	M7(イミノクタジン酢酸塩), 16.1(フサライド)	稲こうじ病との同時防除が可能
	フジワン乳剤	収穫14日前まで	1,000倍, 60～150L/10a 無人航空機 8倍, 0.8L/10a	2回以内	6(イソプロチオラン)	
	フジワン粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a			

※令和3年7月1日現在の登録内容(FRACコードは、殺菌剤の作用機構分類を表す)

※使用回数は有効成分毎の総回数のため、他の薬剤で同一の有効成分を含む場合があるので注意してください。

### ー農薬の適正使用についてー

- 1 ラベルに記載されている適用作物, 使用時期, 使用方法等を十分に確認する。
- 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い, 適切な保護具を着用する。
- 3 農薬の使用前後には, 防除器具を点検し, 十分に洗浄されているか確認する。
- 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し, 周辺環境への飛散防止に努める。
- 5 農薬は計画的に購入・使用し, 使い切るよう努める。
- 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳する。

※薬剤の選定に当たっては, 最新の農薬登録情報を確認してください。

農林水産省の農薬登録情報提供システム:<https://pesticide.maff.go.jp/>

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429 E-mail:[byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

**農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)**